



錦乃通信

Mamiya J.H.S. School News

令和7年4月8日（火）

さいたま市立馬宮中学校

令和7年度 第1号

学校教育目標

未来を拓け ～自己の創造・生きる自信～

SINCE 1947

School Education Goal

Open your Future ～Self Creation ・ Confidence to live～

「学校・家庭・地域が一体となって」

校長 衛 藤 伸 介

三寒四温の繰り返しの中で、そこここに咲く花の彩や穏やかな風の柔らかさに、春の息吹が感じられるようになりました。

保護者の皆様には、お子様の進級・入学につきまして心よりお祝い申し上げますとともに、日頃より本校教育の充実・進展のために御支援、御協力を賜りますことに厚く御礼を申し上げます。

本校は、先月115名の卒業生を送り出し、122名の新入生を迎え、生徒394名、教職員49名で令和7年度をスタートすることとなりました。

私はこの4月に本校に着任したばかりですが、着任前も着任後も、様々な方から本校生徒は挨拶がしっかりでき、素直でとても明るく落ち着いているということを感じてまいりました。これもひとえに保護者の皆様や御家庭、地域の教育力の賜物と深く感謝しております。前任の上田 泰正 校長先生の有形無形の財産を大切にしながら、教職員一丸となって努力してまいる所存です。昨年度同様どうぞよろしくお願いいたします。

また、子どもたちの教育は、学校という場所でのみ、なし得るものではありません。学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの教育にあたることが不可欠です。本校の教育活動推進にあたり、保護者の皆様には、今後とも折にふれ忌憚のない御意見と、御理解、御協力を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

学校教育目標

「未来を拓け 自己の創造 生きる自信」

《目指す学校像》

○「授業」第一主義（Grit）

学校の存在意義である「授業」を何よりも重んじ、生き生きとした魅力ある分かる授業を展開し、生徒一人ひとりに確かな学力をつけるとともに、生涯にわたってやり抜く力（Grit）をはぐくみ、真の学力を育成する。

○「生徒」至上主義（Growth）

生徒一人ひとりの人格を尊重し、成長を支えるとともに、善悪については毅然とした指導を行い、礼儀を重んじ、自他を尊重し、正義を愛する豊かな心と、生涯学び続ける力（Growth）を育成する。

授業や学校行事、生徒会活動、部活動等、全教育活動を通して、心身を鍛え、困難に立ち向かう気力と体力、豊かな人間関係をつくるコミュニケーション能力を身につけた人間を育成する。

○「地域」尊重主義（Global）

地域に根差し、地域から信頼される学校を目指し、きめ細かな情報発信の場を広げ、国際社会で活躍できる人材（Global）を育成し、積極的な学校公開、生徒の地域社会への貢献、保護者・地域とスクラムを組んだ生徒の健全育成に努める。